

平成28年度

松竹歌舞伎舞踊公演

片岡愛之助

製作
松竹

一、御目見得ご挨拶

一

二、鶯

娘

三、連獅子

河竹黙阿弥 作
長唄離子連中



片岡千太郎



2016年11月15日(火) 昼の部 14:00開演
夜の部 18:30開演

入場料／特等席7,000円／一等席6,000円（全席指定・税込）

U-25席4,000円（当日引換券）（25歳以下、二等席対象 当日、指定席と交換）

※道新プレイガイドのみの取り扱い。※当日、免許証など年齢が確認できるものをご提示下さい。※未就学児の入場はご遠慮下さい。

※道新プレイガイドの購入者の方へ：歌舞伎がもっと楽しめます！ 同時解説イヤホンガイドの貸出があります（有料）

ご購入
お問い合わせ

道新プレイガイド
<http://doshin-playguide.jp/>

詳しくは道新プレイガイド
ホームページをご覧ください！

無料メルマガ会員募集中！TEL 011-241-3871
札幌市中央区大通西3丁目道新ビル1F（営業時間：9:30～18:00）



わくわくホリデー ホール（札幌市民ホール）

前売所／道新プレイガイドTEL.011-241-3871、チケットぴあTEL.0570-02-9999【Pコード453-397】
ローソンチケットTEL.0570-084-001【Lコード12355】、教文プレイガイドTEL.011-271-3355
セブン-イレブン各店 店内マルチコピー機、大丸プレイガイド（南1西3）TEL.011-221-3900
※やむを得ない事情により出演者および上演曲が変更されることがあります。あらかじめご了承願います。

宅配便で道内どこでも指定日、
指定時間帯にチケットをお届けします。※お客様の負担として別途送料が加算されます。

協賛／TVhテレビ北海道、オントナ
協賛／ 大和リース株式会社
協力／ ELX 株式会社ペリエック
協力／ KYORITZ 株式会社



松嶋屋

片岡愛之助

◎かたおかひのすけ

昭和56年12月、十三世片岡仁左衛門の部屋子となり、南座『勧進帳』の太刀持で片岡千代丸を名のり初舞台。平成4年1月、片岡秀太郎の養子となり、大阪中座『勧進帳』の駿河次郎ほかで六代目として片岡愛之助を襲名。平成20年12月、上方舞・模茂都流の四代目家元を継承し、三代目として模茂都扇性を襲名。

『廓文章』の伊左衛門、『新口村』の忠兵衛、『女殺油地獄』の与兵衛、『夏祭浪花鑑』の団七九郎兵衛など、上方歌舞伎の代表作を確実に勤め、『寿曾我対面』の曾我五郎、『菅原伝授手習鑑』の梅王丸、『義賢最期』の木曾義賢、『毛谷村』の六助などの大役で、東西の劇場を沸かす。通し狂言として復活させた『鯉つかみ』や、新作歌舞伎『GOEMON 石川五右衛門』では新たな可能性にも挑戦。



美吉屋

上村吉弥

◎かみむらきちや

昭和48年8月、五代目片岡我當に入門し、同年10月大阪新歌舞伎座『新吾十番勝負』の寛永寺の僧ほかで片岡千次郎を名のり初舞台。平成5年11月南座『草摺引』の舞鶴ほかで六代目上村吉弥を襲名。

十三世片岡仁左衛門の薰陶を受け、先代上村吉弥に見込まれて上方歌舞伎の由緒ある名跡を継承し、上方歌舞伎東西の歌舞伎舞台を支える名女方として活躍している。

芸域は幅広く、『廓文章』のお引き、『封印切』のおえんなどの花車役『引窓』のお幸、『毛谷村』の後室お幸などの老母役や、『伽羅先代萩』の栄御前などの大役もこなすほか、『舞踊の大曲』『吉野山』の静御前、『色彩間勘豆』のかさね、立女形の役柄『寿曾我対面』の大磯の虎を勤めるなど、大きな成果を上げている。

ご挨拶

松竹舞踊公演の開幕にあたり、片岡愛之助が皆様にお目見得のご挨拶を申し上げる一幕です。

鷺娘 上村吉弥

鷺の精

上村吉弥

しんしんと雪の降る水辺の柳の下に、蛇の目傘を差した白無垢の娘がひとり佇んでいます。娘と見えたのは、実は白鷺の精。やがて、鷺の精は美しい町娘に転じ、その恋心を様々に見せていきます。しかし、その想いは叶うことなく、恋に迷い、再び鷺の姿となつた娘は地獄の責め苦に苛まれるのでした。

引き抜きやぶつかえりなど、歌舞伎ならではの趣向もみどころの、長唄の歌舞伎舞踊の名作です。

連獅子 片岡愛之助

狂言師右近
後に親獅子の精
狂言師左近
後に仔獅子の精

片岡千太郎

文殊菩薩が住むといわれる靈地清涼山。その麓の石橋に、狂言師の右近と左近が手獅子を携えて現れます。白い毛の獅子が親で、赤い毛の獅子は子の設定です。二人は石橋の謂れや、子を千尋の谷へ突き落とし、谷底より駆け上つてくる強い子だけを育てるという、獅子の子落としの模様を踊つて見せます。上がつて来ない仔獅子を案じる親獅子が谷底を覗き込んだところ、その姿を見つけた仔獅子は、喜び勇んで駆け上つて來るのでした。そこへ法華僧と淨土僧がやって来ますが、お互の宗派が違うところから口論をしていくと、おどろおどろしい山風が吹きます。二人が驚いて退散すると、親獅子と仔獅子の精が現れ、勇壮に毛を振り、舞い納めるのでした。

能の『石橋』をもとに、前半で獅子の親子の情愛を、後半の勇猛な獅子の毛振りを見せる、長唄の歌舞伎舞踊の人気作品をお楽しみください。

おえんなどの花車役『引窓』のお幸、『毛谷村』の後室お幸などの老母役や、『伽羅先代萩』の栄御前などの大役もこなすほか、『舞踊の大曲』『吉野山』の静御前、『色彩間勘豆』のかさね、立女形の役柄『寿曾我対面』の大磯の虎を勤めるなど、大きな成果を上げている。

公演日程

11月15日火	北海道札幌市	札幌市民ホール	11月21日月	高知県高知市	高知県立県民文化ホール
11月17日木	徳島県鳴門市	鳴門市文化会館	11月23日水・祝	石川県金沢市	金沢歌劇座
11月19日土	愛媛県松山市	松山市民会館	11月25日金	宮城県仙台市	東京エレクトロンホール宮城